

2月 ピッコロだより



月	火	水	木	金	土
【中学生の活動】 ・2/10(土) マイチョコを作ろう(自分へのごほうびチョコ作り) ・2/24(土) 身体を動かそう(運動をして、身体も頭もスッキリ!)			1 工作(節分) 	2 工作(節分) 	3 工作(節分)
5 ルールを知ろう (公共施設)	6 ルールを知ろう (公共施設)	7 ルールを知ろう (公共施設)	8 ルールを知ろう (公共施設)	9 ルールを知ろう (公共施設)	10 ルールを知ろう (公共施設)
12 休み (振替休日)	13 ルールを探そう (公共施設)	14 ルールを探そう (公共施設)	15 ルールを探そう (公共施設)	16 ルールを探そう (公共施設)	17 ルールを探そう (公共施設)
19 得意なことを紹介しよう 得意なことを紹介しよう	20 得意なことを紹介しよう 得意なことを紹介しよう	21 得意なことを紹介しよう 得意なことを紹介しよう	22 得意なことを紹介しよう 得意なことを紹介しよう	23 休み (天皇誕生日)	24 得意なことを紹介しよう 得意なことを紹介しよう
26 身体を動かそう 	27 身体を動かそう 	28 身体を動かそう 	29 身体を動かそう 	※「身体を動かそう」の活動では 屋外での活動になるため、 帽子、汗ふきタオルを 持って来てください。	

(今月の主な活動)

- 《工作》節分の行事を感じられるよう、お面等の制作活動を行い、工夫した点を伝え合います。
- 《身の回りのルールを知る》身の回りには、どのようなルールがあるのか、なぜルールが決められているのかを考えます。
また、実際に日常生活の中にあるルールを探しに、まち探検へ出かけます。
- 《得意なことを紹介する》得意なことや好きなこと、がんばっていることなどを相手にわかりやすく紹介します。
- 《身体を動かす》運動あそびを通して、ルールを守りながら友だちと身体を動かして運動あそびを楽しみます。

『得意なことを紹介しよう』の活動についてのおねがい

得意なことを紹介する活動では、自分の得意なことをみんなの前で披露したり、紹介したりします。

【例】自分が描いた絵を見せて紹介する。九九を暗唱して言う。縄跳びをするなど…

利用日までに何を紹介するかご家庭でもお子さんと話をして頂き、ピッコロで紹介できる内容の準備をお願い致します。

何か御不明点がございましたら、いつでも職員へお尋ね下さい。

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本): 24日(土)、26日(月)、28日(水)、29日(木)

言語聴覚士(永山): 5日(月)、6日(火)、10日(土)、16日(金)、21日(水)、22日(木)、26日(月)、28日(水)

理学療法士(樋口): 2日(金)、8日(木)、16日(金)、17日(土)AM

作業療法士(大平): 9日(金)、19日(月)、20日(火)、27日(火)

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前)10 時 20 分まで、(午後)13 時 50 分までにお願いします。
- ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日(午前)11時 50 分～12 時 10 分の間、(午後)15 時 20 分～15 時 40 分の間にお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引き継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

【欠席連絡について】

- ・平日は 16 時以降、土曜日(午前)当日 9 時 30 分以降、(午後)13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥60/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。また、当日のキャンセル連絡はコドモンではなく、お電話で連絡下さい。



～6 年間を振り返って～

児童発達支援ルウ保護者 碓 千恵美

我が家の第一子として産まれた息子も、月日が経つのはとても早く、4 月からは特別支援学校へ入学するピカピカの 1 年生です。

大人数や待つことが苦手で自由が大好きな息子は現在、大自然の中にある規模が小さな保育園に通園し、ルウを含む 3 カ所の療育施設に通っています。就園前は、ママ友や息子のお友だちをつくるために近所の児童館や、未就園児教室などのイベントに毎日のように出向いていました。その際、息子とお友だちを比較すると、不安になる場面が多々あり、近所の療育施設へ 2 歳前から通うこととなりました。

引っ越しや転園の関係で、年少からはご縁をいただいた歩路、年中からはルウを利用しています。

毎日楽しんで保育園や療育に通っている息子ですが、日々の困りごとや悩み等が出てきます。その旨をコドモンで相談すると、電話や面談で先生方がこちらに寄り添ってくださるのでとても心強いです。先生方を含めた周りの方々のサポートもあり、ゆっくりではありますが息子自身もできることが増え、確実に成長している姿が頼もしいです。



落穂会さんでは、イベント等も豊富で、家族全員で楽しませていただき、感謝の気もちでいっぱいです。4 月からはニポポでお世話になります。これからも末永くよろしく願いいたします。

～大切な居場所～

放課後等デイサービスシュバル保護者 吉村 千春

我路・シュバルに通い始めて 9 年が経ち、あっという間に娘も中学 3 年生になりました。普段はどうしても「もう少し、もう少し」と頑張りを期待してしまいましたが、この 9 年でひらがなとカタカナの読み書き、1 人で階段の上り下り、意思表示、身支度、怖がっていた馬のお世話が好きになり、1 年以上をかけて乗馬ができるようになりました。今では「レッスンは？」と楽しみにしているなど、マイペースな娘なりの成長を感じ嬉しく思います。

そんな娘も中学 1 年生のときに、不登校を経験しました。夜寝付けなくなり、夜間も不安で目が覚め泣き出してしまふ、学校へ行きたい思いもあり向かって校門で泣き出して動けなくなる。約 1 ヶ月半学校を休み、付き添いで学校を散歩したり図書館へ行ってみたり、短時間登校をしたりと娘のつらさに寄り添いながら「どうすればいい…」と答えの出ない不安な日々を親子で苦しんだこともありました。妹や弟のごと、私自身の精神的な負担や仕事もあり、休み続けられるはずもなく困った末にシュバルへ相談させてもらい、学校へ行けない日は朝から利用させていただき、徐々に精神的に落ち着き、生活リズムも戻り、なんとか学校へ行けるようになりました。親子で本当にしんどかったあの時、先生方に支えていただき、感謝しかありません。今では、リハビリや通院を除き週 6 日楽しそうにシュバルへ通っています。シュバルが冬休みの間は、「シュバルいつから？〇〇先生いるかな？〇〇ちゃん来るかな？」のやりとりが日課のようになり、毎日カレンダーの確認をして開所を楽しみにしていました。娘にとってシュバルは、楽しくて居心地の良い場所であり、学校で頑張った疲れを癒せる場所、精神的なバランスを保つための“大切な居場所”になっているんだと実感しています。環境の変化に敏感な娘にとって“居場所”と想える場所があることは、娘だけでなく障がいをもつ子どもを育てる親の私たちにとっても支えになります。

今までたくさんの壁にぶつかり悩みながら、娘ののんびりなペースを急かしつつ、1 つひとつできるようにと向き合ってきました。4 月からはいよいよ高等部へ、新しい環境と将来について考えるという壁に不安はありませんが、これからも辛抱強く娘に付き合っていくと思います。いつも寄り添い、優しく楽しい声かけやたくさんの支援をしていただき、ありがとうございます。お迎えの時はいつも「楽しかった～まだ遊びたい」と帰りたくないアピールでしぶしぶ帰路につくのは、“今日も楽しかった”の証。



あと 3 年…娘には大好きなシュバルで心を健康に、そして楽しく学び楽しく過ごしてほしいです。

